

域を中心に被害が発生している。当館からも当局に対して対応の申入れをしているが、具体的な成果の報告は受けていない。皆様におかれては、早朝の空港送迎では、タクシーでの移動を極力避け、社用車もしくはタクシー車両と混同されないチャーター車の使用を励行するとともに、可能な限り夜間の外出を控える等の予防措置を各自で取っていただくことが大切である。万が一そのような事案に遭遇した場合には、身の安全を第一に考えて慎重に落ち着いて行動していただき、対応に困った際には当館に電話をしていただければ対応させていただきます。また、10月30日付で、当館からお知らせメールを発送しているの、社内、御家族に共有していただきたい。

4 最新の医療事情

季節性インフルエンザが今年も日本で流行する兆しがある。現在日本では4価ワクチンの接種が実施されているが、当地では3価ワクチンの接種のみ可能となっている。出張、休暇等で帰国する方におかれては、御家族も含め、日本でのワクチンの接種を行っていただくことも一案と思われる。

5 領事部長からの発言

インドネシア入国の際のパスポートに関して、残りの有効期間が6か月以上、残りページが3ページ以上なければ基本的にイミグレで入国拒否されるため、改めて注意喚起させていただきます。

6 質疑応答、各社（団体）からの報告等

（報告）

IMTA関係で、ブカシにある当社の関係施設に査察が入った。組織表のタイトルとIMTAに記載されているタイトルが一致していなかったため、当局にパスポートを一旦没収されたが、表記を書き換えることで対応し、罰金等を取られることは特になかった。

（報告）

当社に以前税務調査が入った際の調査官の話では、中央政府から税収増加のためのノルマを課されているらしく、日経企業にも過年度の税務調査が入る可能性や理不尽な徴税が今後行われる可能性があり得ることを念のため共有させていただきます。

（質問）

警察官と思われる人物からの金銭要求事案に関して、2点質問。1点目は、金銭要求時の理由。2点目は、日本人が多く集まる南ジャカルタ地域でも同様の事案が発生しているか。

(回答)

理由に関しては、就労ビザ、滞在許可に関するものが大半である。また、南ジャカルタ地域での被害報告は受けていない。先ほども申し上げたとおり、被害は北ジャカルタ、中央ジャカルタに集中している。

(報告)

10月21日、井口領事にバンドンまでお越しいただき、当地の警察に邦人、日本人学校、日系企業に対する警備強化の要請をしてもらった。そのおかげもあり、日本人学校においては、毎日2回、警察によるパトロールが実施されるようになった。日本人会としても当地警察と連絡を密にし、情報共有等を行っていきたいと思っている。

(報告)

当社のスラバヤからの出張者が、午前4時頃、空港へ向かうタクシー乗車中に、6人組の警察官と思われる集団による検問に遭った。当人はパスポートとキタス原本を所持していたが、先方からは会社からの出張指示書なるものの提示も必要であるとされた。最終的には金銭による解決になった由。今回はイレギュラーなケースであったが、パスポート及びキタスの原本は常に携帯するよう当社社員に引き続き徹底して呼びかけている。

次回の海外邦人安全対策連絡協議会は、2015年12月8日(火)午前11時から